



平成 28 年 6 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社アークス  
代表者名 代表取締役社長 横山 清  
(コード：9948 東証第一部、札幌)  
問合せ先 取締役常務執行役員  
管理部門・コーポレート部門管掌  
古川 公一  
(TEL. 011-530-1000)

## 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、平成28年2月期の内部統制報告書に開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、平成26年9月1日付で株式会社ベルプラス（現株式会社ベルジョイス）との間で株式交換による経営統合を行いました。その企業結合に伴う資本連結手続きにおいて少数株主持分の計算に誤謬があることが判明したため、平成27年2月期第3四半期の四半期報告書及び平成27年2月期の有価証券報告書並びに平成28年2月期第1四半期から第3四半期における四半期報告書について、平成28年4月8日に訂正報告書を提出いたしました。

上記の誤謬については、当社において該当する複雑な企業結合会計及び連結会計に関する認識の誤りにより、少数株主持分の残高検証が不足していたことが原因であり、当社の経理体制が正確な財務諸表を作成することに必ずしも十分とは言えないことから、全社的な内部統制及び決算・財務報告プロセスに関連する内部統制上、開示すべき重要な不備があると判断いたしました。

#### 2. 事業年度末までに是正できなかった理由

上記の財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備が、当連結会計年度末までに是正されなかった理由は、当該誤謬の判明が当連結会計年度の第4四半期となり、対応する不備の是正措置を完了することができなかったためであります。

#### 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を強く認識しており、全社的な内部統制及び決算・財務報告プロセスの整備・運用の強化を図り、財務報告の信頼性を確保してまいります。

#### 4. 不備を是正するために実施された措置

評価結果に関する事項に記載された開示すべき重要な不備を是正するために、当連結会計年度の末日後、少数株主持分の残高検証を強化することを主な目的に、連結決算に関するチェックリストを再度整備したほか、複雑な企業結合会計及び連結会計に対応するための専門知識の強化お

よび人員体制の確立に向けて、公認会計士有資格者に対する採用活動を継続して実施しております。

5. 連結財務諸表に与える影響

上記開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、全て連結財務諸表に反映しております。

6. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上